

厚生労働行政推進調査事業費補助金（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））
「レセプト情報・特定健診等情報を用いた医療保健事業・施策等のエビデンス構築等に資する研究」
分 担 研 究 報 告 書（令和6年度）

訪問診療及び往診における超音波検査投入量の地域差について

研究分担者 板橋 匠美（東京医療保健大学 総合研究所 客員准教授

日本臨床衛生検査技師会 政策調査課 主幹）

研究分担者 小野 孝二（東京医療保健大学 東が丘看護学部/大学院看護学研究科 教授）

研究分担者 明神 大也（浜松医科大学 健康社会医学講座 准教授）

研究分担者 西岡 祐一（奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 助教）

研究代表者 今村 知明（奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 教授）

研究要旨

持続可能な医療制度と提供体制の確保を目指し、国と都道府県が保険者や医療従事者等の協力のもと、「医療費適正化計画」により医療費を抑えるための取り組み等が進められている。

2024-2029年度の第4期では、新たに（1）複合的なニーズを有する高齢者への医療・介護の効果的・効率的な提供と、（2）医療資源の効果的・効率的な活用の2点が新たに位置づけるとともに、取組の実効性を確保するための体制の構築が盛り込まれ、（2）にあたり必要な取組を進めるべき事項として、①効果が乏しいというエビデンスがあることが指摘されている医療の適正化と、②医療資源の投入量に地域差がある医療の適正化が位置づけられ、この②はOECDによる情報を踏まえ、白内障手術や化学療法における入院から外来への移行推進について例示がされた。

本分担研究においては、例示された項目外にて、政策的介入の余地があるような項目として昨年度、臨床検査領域に着目した場合の地域における偏在の影響を受けている項目で、（1）直腸肛門機能検査の院内実施、（2）在宅医療等の訪問診療の中での超音波検査の活用が考えられるとして提示した。本年度は、在宅医療等の訪問診療の中での超音波検査の活用について、より詳細に分析を行うことを目的とし、2020年度から2023年度のNDBオープンデータを用いて、訪問診療および往診時における超音波検査の算定状況を都道府県別に抽出し、地域差、診療形態別の特徴、年次推移等の観点から定量的分析を行った。さらに、算定傾向の解釈にあたり、関係団体へのヒアリングを実施し、医療現場での実際の運用状況や、今後の活用可能性についても検討を加えた。

その結果、超音波検査の実施状況には都道府県間で顕著な差がみられ、特に訪問診療における腹部と心臓の同時算定や、訪問診療と往診にまたがる継続的活用の有無において、地域によって大きなばらつきがあることが明らかとなった。また、超音波検査の算定割合や成長率が高い地域では、在宅医療体制の充実や高齢者人口の多さといった背景がある可能性が示唆された。

これらの結果から、訪問診療における超音波検査の活用は、在宅医療の質の向上や医療資源の効率的活用に資する可能性がある一方で、地域間の格差が大きく、政策的な支援やガイドラインの整備による普及促進が求められる。

今後、更に追加分析による掘り下げを行う必要がある場合には、人口あたりの件数、訪問診療・在宅療養支援診療所の数との相関、医療資源の地域格差、COVID-19の影響、2024年度の診療報酬改定の影響、超音波検査における職種別実施とレセプト請求の取扱い差を論点として行うべきと考える。

A. 研究目的

【背景】

高齢者の医療の確保に関する法律（昭和 57 年法律第 80 号）において、持続可能な医療制度と提供体制の確保を目指し、国と都道府県が保険者や医療従事者等の協力のもとで進める、住民の健康増進と医療費適正化のための取り組みとして、「医療費適正化計画」の作成が定められている。

医療費を抑えるため、2008-2012 年度の第 1 期計画では、特定健診・保健指導の実施率向上や平均在院日数の短縮を目標に据え、2013-2017 年度の第 2 期には後発医薬品の使用促進に関する数値目標が追加された。

2018-2023 年度の第 3 期からは平均在院日数を目標には入れず、生活習慣病の重症化予防や医薬品の適正使用の促進（重複投薬、多剤投与の適正化）に向けた取り組み等が新たな指標として取り入れられた。

次期計画のため、2022 年度の検証では、都道府県ごとに計画の進捗状況はばらつきがみられ、医療費の抑制効果は極限られているという結果となったことを踏まえ、2024-2029 年度の第 4 期では、現行の目標の更なる推進とともに、新たに取り組むべき目標として、(1) 複合的なニーズを有する高齢者への医療・介護の効果的・効率的な提供と、(2) 医療資源の効果的・効率的な活用の 2 点が新たに位置づけるとともに、取組の実効性を確保するための体制の構築が盛り込まれた。

この医療資源の効果的・効率的な活用にあたっては、社会保障審議会医療保険部会（以下「医療保険部会」という。）において、医療サービスの提供状況について地域差等を分析して取組を進めることが重要であり、断続的な検討が必要との指摘や、地域差だけでなく医療提供体制等についても協議したうえで取り組む必要があるとの指摘があったことから、医療資源の効果的・効率的な活用のために、地域ごとに都道府県や関係者が把握・検討を行い、必要な取組を進めるべき事項として、以下の 2 点を新たに位置づけることとした。

①効果が乏しいというエビデンスがあることが指摘されている医療の適正化

②医療資源の投入量に地域差がある医療の適正化

これらが盛り込まれた「医療費適正化に関する施策についての基本的な方針」（令和 5 年 7 月 20 日厚生労働省告示第 234 号。以下「国の基本方針」という。）における目標及び取り組みを踏まえ、都道府県は 2023 年度中に新計画を作成し、関係者と連携しながら取組を進めることとなった。

この国の基本方針において、医療資源の投入量に地域差がある医療では、OECD による情報を踏まえ、白内障手術や化学療法における入院から外来への移行推進について例示がされた。

【目的】

本総括研究は、②に関連する諸外国の先行文献のレビューや NDB オープンデータでの都道府県差等の実態調査と必要な分析を行い、2024 年度からはじまる第 4 期医療費適正化計画における費用対効果等の指摘に科学的な検証により対応し、取り組むことが適切と考えられる項目等について提言することを一つの目的としている。

本分担研究においては、医療保険部会の議論で例示された②に関する項目外にて、政策的介入の余地があるような項目として昨年度、臨床検査領域に着目した場合の地域における偏在の影響を受けている項目で、(1) 直腸肛門機能検査の院内実施、(2) 在宅医療等の訪問診療の中での超音波検査の活用が考えられるとして提示した。

本年度は、在宅医療等の訪問診療の中での超音波検査の活用について、より詳細に分析を行うことを目的とする。

B. 研究方法

【対象】

2020 年 4 月から 2024 年 3 月の全額公費レセプトを含む医科 外来（入院外）のレセプトデータを対象とした適正化 NDB を用いた。

【方法】

在宅医療等の訪問診療の中での超音波検査に関連する診療行為コードを表 1 で示す訪問診療料、往診料、超音波（心臓精密）、訪問診療時超音波（全般簡易）、何らかの超音波検査の郡に分けて抽出し、表 2 の条件でレセプト数を年度別・都道府県別に 3 次データ（別紙）として算出する。

これを以下の視点で表 3 に示す計算式にて分析を行った。

(1) 地域差（都道府県別）：どの地域で超音波の利用が多いか

(2) 診療形態別の特徴：訪問診療と往診での超音波使用頻度の違い

(3) 時間的变化（2020 年～2023 年）：超音波の算定件数が増加しているか

なお、レセプト算定数からの注釈/条件として以下 3 つを設定した。

(1) #VALUE! の部分は「<10」の値が計算時に含

まれているものであり、<10 を 5 とし仮定して置き換える。

(2) 算定数「0」の場合は割合が出せないため、「算定なし」と記載し、以降の年度で算定数が「1」以上のものがある場合には、その年度から成長率換算を行うする。

(3) 訪問診療時の超音波（心臓精密）で 2 回以上算定するのは、2 回と仮定する。例）仮に 10 となっている部分は、 10×2 の 20 として算出また分析したデータを提示の上で、患者データに基づかないその分野を担当する関係者の意見について、専門団体へのヒアリングを実施した。

<研究協力団体>

・一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

C. 研究結果

1. 訪問診療算定時の超音波検査の 2023 年の算定割合（表 3）

訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数の算定割合は、香川県（2.18%）、沖縄県（1.37%）、滋賀県（1.00%）、福井県（0.98%）、広島県（0.83%）の順で高い。

訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療における超音波（心臓精密）の算定数（概算）の算定割合は、石川県（0.86%）、長崎県（0.62%）、佐賀県（0.56%）、愛知県（0.41%）、神奈川県（0.302%）の順で高い。

訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数は、佐賀県（0.31%）、長崎県（0.21%）、大阪府（0.09%）、京都府（0.08%）、愛知県（0.05%）の順で高い。

訪問診療時超音波（全般簡易）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合は、佐賀県（55.46%）、長崎県（25.48%）、大阪府（13.84%）、鹿児島県（13.82%）、京都府（11.69%）の順で高い。

超音波（心臓精密）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合は、山梨

県（100%程度）、佐賀県（69.66%）、大分県（37.50%）、長崎県（33.60%）、愛媛県（31.82%）の順で高い。

“超音波（心臓精密）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合”から“訪問診療時超音波（全般簡易）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合”を引いたパーセントの増加や減少（ポイント）は、山梨県（94.12%程度）、大分県（35.39%）、福島県（29.27%）、愛媛県（27.03%）、岡山県（23.50%）の順で高い。

2. 往診算定時の何らかの超音波検査の 2023 年の算定割合（表 3）

往診料が算定されているレセプト数のうち、往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合は、沖縄県（5.43%）、宮城県（4.89%）、宮崎県（4.41%）、栃木県（3.97%）、滋賀県（3.53%）の順で高い。

訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合は、茨城県（18.23%）、愛知県（11.02%）、栃木県（10.11%）、東京都（9.47%）、岐阜県（9.30%）の順で高い。

往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合は、茨城県（22.48%）、香川県（14.38%）、岐阜県（13.72%）、愛知県（13.03%）、東京都（12.75%）の順で高い。

“往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合”から“訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプ

ト数の割合”を引いたパーセントの増加や減少（ポイント）は、香川県（12.08%）、広島県（7.72%）、石川県（5.97%）、福岡県（5.10%）、福井県（5.00%）、栃木県（-4.70%）、富山県（4.49%）の順で高い。

3. 直近4年（2020年から2023年）の年次平均成長率（表4）

訪問診療における訪問診療時超音波（全般簡易）算定割合の年次平均成長率は、秋田県（3.17%）、沖縄県（2.52%）、高知県（2.33%）、岐阜県（2.24%）、新潟県（1.96%）の順で高い。

訪問診療における超音波（心臓精密）算定割合の年次平均成長率は、高知県（5.25%）、青森県（3.85%）、宮崎県（3.10%）、沖縄県（2.35%）、新潟県（2.05%）の順で高い。

訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数算定割合の年次平均成長率は、愛知県（6.35%）、福岡県（4.50%）、宮崎県（4.30%）、広島県（4.10%）、大阪府（3.06%）の順で高い。

訪問診療時超音波（全般簡易）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率は、愛知県（4.10%）、福岡県（3.00%）、宮崎県（2.45%）、広島県（2.26%）、大阪府（2.09%）の順で高い。

超音波（心臓精密）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率は、愛知県（5.31%）、広島県（3.86%）、山梨県（2.60 程度）、佐賀県（2.45%）、大阪府（1.99%）の順で高い。

“超音波（心臓精密）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率”から“訪問診療時超音波（全般簡易）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率”を引いたパーセントの増加や減少（ポイント）は、広島

県（1.60%）、愛知県（1.20%）、福岡県（-1.09%）、宮城県（-1.06%）、茨城県（1.01%）の順で高い。

往診料が算定されているレセプト数のうち、往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率は、香川県（4.38%）、新潟県（1.74%）、福岡県（1.63%）、京都府（1.62%）、埼玉県（1.61%）の順で高い。

訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率は、香川県（8.21%）、長崎県（3.33%）、大分県（2.68%）、宮崎県（2.63%）、鹿児島県（2.36%）の順で高い。

往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率は、鹿児島県（3.35%）、長崎県（3.28%）、大分県（3.13%）、宮崎県（2.82%）、山形県（2.68%）の順で高い。

“往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率”から“訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率”を引いたパーセントの増加や減少（ポイント）は、香川県（-6.37%）、鹿児島県（1.00%）、広島県（0.92%）、青森県（0.84%）、富山県（0.721%）の順で高い。

4. 患者データに基づかない意見

現場で超音波検査の実施する立場にて従事する臨床検査技師の感覚として、在宅医療における超音波検査の実施数は統計上大きな増加が見られないものの、実態としては「増加している」との印象を受ける。こうした背景には以下のような要因があると考えられる。

1) 機器の多様化と利便性の向上

ポータブル・多機能型の超音波機器の普及が、

現場での活用を促している。たとえば以下のような機器の登場が大きい。

- ・ GE ヘルスケア「Vscan」シリーズ(2010 年以降、ワイヤレスモデルや複数プローブ搭載機が登場)
- ・ 日本シグマックス「ポケットエコー miruco」
- ・ 富士フイルム「SonoSite Edge II」
- ・ コニカミノルタ「SONOVISTA GX30」
- ・ 誠鋼社「FAMUBO」
- ・ キヤノンメディカル「Aplio air」
- ・ 富士フイルム「iViz air」

これらの製品は、コンパクトで持ち運びやすく、操作性にも優れたモデルが増えており、在宅医療の現場で即時対応が可能な診療スタイルを支えている。

2) 安価な機器の登場

機器価格の低下により、普及が進んでいる。上位機種が約 200 万円、普及モデルで 100 万円、簡易型では 30 万円程度とされ、使用目的に応じて選択肢が広がったことで、従来の「臨床検査技師目線」ではなく、「目的に応じた実用性重視」での導入が進んでいる。

3) 実施職種の拡大

近年では、医師以外の医療職が POCUS (Point of Care Ultrasound) を活用する例が増加している。

- ・ 看護師による実施: 特定行為研修の修了者が病態把握の一助として使用するケース
- ・ 理学療法士による技術確認のための活用: 筋厚・筋萎縮・関節液などの評価目的で、運動器リハビリ分野での活用が注目されている

4) 普及が進まない要因

在宅医療での超音波検査が普及していないように見える背景には、訪問診療数や往診件数などの算定分母の構造的な違いがある。

離島やへき地を除き、特に医師が単独で訪問している施設では、超音波機器の携行や検査実施が難しい場合も多い。

5) 地域差の要因

臨床検査技師などの医師以外の医療職を配置している医療機関が多い地域では、包括的な在宅診療体制が構築されており、超音波検査の実施件数が増える傾向がある。

例えば香川県では、在宅看取り件数が全国でも

上位の医療機関である在宅診療 敬二郎クリニック (203 件) や医療法人社団緑会 ザイタックスクリニック (146 件) において、訪問診療・往診件数 (敬二郎クリニック 9,750 件、ザイタックスクリニック 14,013 件で計 23,763 件) は、香川県での訪問診療・往診件数 (訪問診療 86,043 件、往診 17,453 件で計 103,496 件) の約 2 割を担っている。

これら医療機関には臨床検査技師が配置されており、このことも超音波検査の算定件数に大きく寄与していると考えられる。

地域差として現れている現象は、実際にはその地域に存在する医療機関の診療体制に依存していることも要因と推察される。同様の傾向は九州地域にも見られる。

6) 全般簡易と心臓精密の同時算定が少ない理由

在宅医療では、処置目的や特定疾患の確認に絞った超音波検査が多く、全般簡易と心臓精密を同時に実施するケースは限定的である。

特に心臓精密の評価には循環器専門医の関与が多く、医師の専門性によっても左右される。ただし、近年では全般簡易と心臓精密の両方を扱える医師も増えており、今後の傾向変化も考えられる。

D. 考察

1. 訪問診療での実施割合

(1) 分析結果

1) 全般簡易と心臓精密の算定率には大きな地域差がある

超音波 (全般簡易) の算定割合は、最も高い地域である香川県が 2.18% で突出して高く、全体的に低めである。

超音波 (心臓精密) の算定割合も、最も高い石川県で 0.86% と 1% 未満。

訪問診療全体の中で、超音波検査の活用はまだ少ない。

2) 同時算定 (全般簡易・心臓精密) の実施率が高い県は限定的

全般簡易と心臓精密の超音波検査を同時に実施している割合が高い地域は限定的である。算定の絶対値としては、佐賀県 (0.31%)、長崎県 (0.21%) が高く、訪問診療の中で両部位の検査を同時に行っている件数が比較的多い。

また、超音波 (全般簡易) が算定されたケースのうち、心臓精密との同時算定が行われた割合は、佐賀県で 55.46%、長崎県で 25.48% となっており、これらの地域では全般簡易を実施す

る際に高い頻度で心臓精密も併せて実施している実態がうかがえる。

さらに、心臓精密が算定されたケースにおいて、全般簡易との同時実施が行われた割合は、山梨県ではほぼ 100%、佐賀県で 69.66%と非常に高く、心臓精密を実施する場合には全般簡易も併せて行う診療スタイルが定着している可能性がある。

これらのデータから、全般簡易と心臓精密の同時実施に積極的な県は一部に限られ、地域ごとの診療体制や医師の判断により大きな差が生じていることが示唆される。

3) 同時算定のされ方に「全般簡易起点」と「心臓精密起点」で違いがある

山梨県のように「心臓精密を行う場合は必ず全般簡易もセット（100%程度）」の地域がある一方、佐賀県のように「全般簡易を行う際に心臓精密も高頻度で併せている（55.46%）」地域もある。

地域ごとにどちらの臓器を主目的としているか、あるいは包括的評価の姿勢の差が見える。

(2) 分析結果の解釈

1) 「心臓起点」の同時算定の方が、地域差が顕著にある。

「心臓算定のうち同時算定の割合」と「全般簡易算定のうち同時算定の割合」の差（ポイント差）をみると、山梨（+94.12%）、大分（+35.39%）などのように、心臓起点の同時算定が顕著に高い県がある。つまり、心疾患リスクに注目した評価スタイルや、慢性心不全や浮腫等の全身評価を目的とした超音波の使い方をしている可能性がある。

2) 佐賀・長崎など一部地域は、包括的な超音波活用モデルになり得る。

全般簡易・心臓精密ともに算定率が高く、同時算定率も高い。このことから、訪問診療において包括的評価を意識した地域的実践がされている可能性ある。一方、同時算定がほとんど見られない地域もあり、訪問診療での超音波検査の活用に格差があるといえる。

なお、訪問診療や往診の場面において、臨床検査技師が実施した超音波検査について、医師の診療と紐づかない場合や、算定要件を満たしていないと判断されるケースでは、レセプト請求が却下される事例も報告されている。これにより、実施件数は存在しているにもかかわらず統計上に反映されにくい可能性がある。特にこのような運用差は都道府県間で異なる傾向が

みられ、算定データ上の地域差の一因となっている可能性も考えられる。

2. 往診での実施割合

(1) 分析結果

1) 往診時の超音波検査の算定率には大きな地域差がある

沖縄県、宮城県、宮崎県、栃木県、滋賀県などは、単純な算定割合が高く、これは往診全体に対して比較的多く超音波を用いている地域であることを示している。

一方、茨城県や愛知県、岐阜県、東京都などは、同一患者に対して訪問診療・往診で継続的に超音波を使用している傾向を示唆している。

2) 訪問診療と往診で連続利用の際の特徴

差分（増減）を見た場合、香川県が+12.08 ポイントと最も大きく増加している。これは起点となる実施回数に対して、実際に同時に算定された回数が大きく増えていることを意味する。このことから香川県では、過去の実施が次の往診時にも再度反映されやすい継続的使用での診療スタイルが用いられている可能性がある。

一方で栃木県では、差分が-4.70%と大きく減少している。これは起点としての実施は多いが、同時に算定される率が相対的に低いということの意味する。このことから栃木県では、訪問診療の際に超音波を一度だけ用い、以降には使われにくい単発使用での診療スタイルが用いられている可能性がある。

(2) 分析結果の解釈

1) 超音波の訪問診療・往診での連続利用の傾向
超音波の訪問診療・往診での連続利用は、医療機関側の診療設計の違いや、慢性疾患やモニタリングが必要な患者の多寡を反映している可能性がある。

特に茨城県は、「訪問診療時超音波実施を起点」と「往診時何らかの超音波実施を起点」の指標で上位にあり、往診時に超音波を組み込んだ診療が積極的に行われている県と見なせる。

2) 超音波検査の実施パターンへの傾向

地域ごとに、往診における超音波検査の使用頻度や使用パターン（継続・単発）に違いがある。茨城県や愛知県などでは、超音波を用いた継続的・戦略的診療がなされている可能性があり、香川県のように訪問診療時に比して往診時に算定が急増している地域では、最近になって運用が強化された可能性もある。

栃木県は一見すると超音波検査の使用が多いが、モニタリングのための運用は取り入れていないと考えられる。

3. 直近4年（2020年から2023年）の年次平均成長率

(1) 分析結果

1) 訪問診療での超音波検査算定数の伸び

秋田県、沖縄県、高知県、岐阜県、新潟県で成長率が高い（例：秋田県 3.17%）。

2) 超音波（心臓精密）の伸び

高知県（5.25%）が突出し、青森、宮崎、沖縄、新潟が続く。

3) 全般簡易・心臓精密の同時算定の増加

愛知県（6.35%）、福岡県（4.50%）など都市部で特に高い。

4) 全般簡易・心臓精密それぞれの算定件数に対する同時算定の比率

「心臓→同時算定」の比率のほうが高い県（例：愛知県、広島県）と、その差が小さい/逆転している県（例：福岡、宮城）に分かれる。

5) 往診時の超音波検査算定数の伸び

香川県（4.38%）が顕著で、新潟、福岡、京都、埼玉が続く。

6) 訪問診療と往診における同時算定状況

香川県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県で「訪問診療＋往診」両方での超音波同時算定が多い。

香川県は「訪問診療時の同時算定数」が「往診時の同時算定数」を 6.37% 上回る。

(2) 分析結果の解釈

1) 在宅医療のニーズと対応の地域差

成長率が高い県は、高齢化率が高い地域や医療機関へのアクセスが困難な地域が多く、超音波検査を含む在宅医療の重要性が増している可能性がある。

2) 超音波（心臓精密）の普及

心疾患のモニタリングや慢性疾患管理が重視され、特に超音波（心臓精密）の活用が高まっている県がある。

高知県や青森県のように、訪問先での包括的評価を積極的に導入している地域が目立つ。

3) 検査の効率化と包括的診療の意識

愛知・福岡・大阪など都市部では、全般簡易と心臓精密の同時実施率が高く、効率的かつ包括的な診療が意識されている。

4) 医師の診療行動・診療体制の差

「心臓精密時に全般簡易を追加する傾向」が強い県（例：広島、愛知）では、医師が一回の訪問で多面的な評価を意識している可能性がある。

福岡や宮城などでは、全般簡易→心臓精密の流れが少なく、検査の導入順や目的に違いがあると考えられる。

5) 往診と訪問診療の使い分けと連携度

香川県のように訪問診療での検査が往診よりも多い地域では、定期的な診療の中で検査を完結させる意識が強い。

一方、鹿児島や長崎、宮崎では往診でも検査を積極的に実施しており、急変対応や柔軟な医療提供がされていると見られる。

E. 結論

今回の分析から、訪問診療・往診における超音波検査の活用には、地域ごとの傾向が出てきていることが明らかとなった。

近畿・九州では、全般簡易・心臓精密の超音波検査がともに一定のニーズ増加または安定が見られ、在宅医療での検査活用が進んでいる地域と考えられる。また、高齢化率や訪問診療体制の充実が影響している可能性も考えられる。

関東では、いずれの超音波検査もやや減少傾向にあり、在宅医療での活用が他地域に比べて進んでいない可能性が考えられる。大都市圏では訪問診療よりも通院を選ぶケースが多いという考え方も成り立つのではないだろうか。四国では、全般簡易・心臓精密ともにかかなり低件数であるが、やや増加傾向にあった。絶対件数が少ないため、地域の在宅医療体制や医師数との関連分析も必要となる可能性がある。

今後、更に追加分析による掘り下げを行う必要がある場合には、以下の論点にて行うべきと考える。

- ① 人口あたりの件数（地域ごとの年齢構成や高齢者人口に対する比率）
- ② 訪問診療・在宅療養支援診療所の数との関係
- ③ 医療資源の地域格差（特に超音波機器保有状況や臨床検査技師の配置）
- ④ COVID-19 の影響（2020～2021 年の急減・急増の要因）
- ⑤ 2024 年度の診療報酬改定の影響（在宅超音波検査の評価の見直しなど）
- ⑥ 超音波検査における職種別実施とレセプト

請求の取扱い差

F. 健康危険情報 なし

G. 研究発表 なし

1. 論文発表

- 1) 板橋匠美, 明神大也, 西岡祐一, 深澤恵治, 丸田秀夫, 小野孝二, 今村知明: 臨床検査領域における医療資源投入量の地域差について. 医学検査, 2025 ; 74 : 200-205.

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得 なし

2. 実用新案登録 なし

3. その他 なし

表 1 在宅医療等の訪問診療の中での超音波検査に関連する診療行為コード群

群	群名称	診療行為コード	診療行為コード（名称）
1	訪問診療料	114001110	在宅患者訪問診療料（１）１（同一建物居住者以外）
		114042110	在宅患者訪問診療料（１）２（同一建物居住者以外）
		114030310	在宅患者訪問診療料（１）１（同一建物居住者）
		114042210	在宅患者訪問診療料（１）２（同一建物居住者）
		114012910	在宅患者訪問診療料（居住施設入居者等）
		114018010	在宅患者訪問診療料（同一建物居住者）（特定施設等入居者）
		114042810	在宅患者訪問診療料（２）イ
		114046310	在宅患者訪問診療料（２）ロ（他の保険医療機関から紹介された患者）
		114027710	在宅患者共同診療料（訪問診療）（同一建物居住者以外）
		114027810	在宅患者共同診療料（訪問診療）（同一建物居住者）
2	往診料	114000110	往診料
		114001610	特別往診
		114027610	在宅患者共同診療料（往診）
3	超音波（心臓精密）	160072510	超音波検査（心臓超音波検査）（経胸壁心エコー法）
		160072610	超音波検査（心臓超音波検査）（Ｍモード法）
		160160410	超音波検査（心臓超音波検査）（経食道心エコー法）
		160186610	超音波検査（心臓超音波検査）（胎児心エコー法）
		160198810	超音波検査（心臓超音波検査）（負荷心エコー法）
4	訪問診療時 超音波（全般簡易）	160218310	超音波検査（断層撮影法）（訪問診療）
5	何らかの超音波	160072110	超音波検査（Ａモード法）
		160072210	超音波検査（断層撮影法）（胸腹部）
		160072450	超音波検査（心臓超音波検査以外）（断層撮影法とＭモード法）
		160072510	超音波検査（心臓超音波検査）（経胸壁心エコー法）
		160072610	超音波検査（心臓超音波検査）（Ｍモード法）
		160072750	超音波検査（心臓超音波検査以外）（Ｍモード法）
		160072910	超音波検査（ドプラ法）（胎児心音観察）
		160147110	超音波検査（ドプラ法）（脳動脈血流速度連続測定）
		160147210	超音波検査（ドプラ法）（脳動脈血流速度マッピング法）
		160150050	超音波検査（ドプラ法）（末梢血管血行動態検査）
		160160410	超音波検査（心臓超音波検査）（経食道心エコー法）
		160161710	超音波検査（血管内超音波法）
		160165010	超音波検査（断層撮影法）（その他）
		160186610	超音波検査（心臓超音波検査）（胎児心エコー法）
		160198810	超音波検査（心臓超音波検査）（負荷心エコー法）
		160213010	超音波検査（断層撮影法）（下肢血管）
		160218310	超音波検査（断層撮影法）（訪問診療）

表2 3次データとしての算出条件

A	訪問診療料が算定されているレセプト数
B	訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数
C	訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数
D	訪問診療料が算定されており、かつ超音波（心臓精密）が2回以上算定されているレセプト数 ※訪問診療料と超音波（心臓精密）の算定日は問わない
D*（注釈に従い換算した数）	訪問診療料が算定されており、かつ超音波（心臓精密）が2回以上算定されているレセプト数 ※訪問診療料と超音波（心臓精密）の算定日は問わない ※注釈に従い換算
E	訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数
F	訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数
G	往診料が算定されているレセプト数
H	往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数

表3 3次データから分析に用いた計算式

B/A	訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数の算定割合
C+D*	訪問診療における超音波（心臓精密）の算定数（概算）
(C+D*) / A	訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療における超音波（心臓精密）の算定数（概算）の算定割合
E/A	訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合
E/B	訪問診療時超音波（全般簡易）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合
E/ (C+D*)	超音波（心臓精密）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合
F/A	訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合
F/G	往診料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合
F/B	訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合
F/H	往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合
G/A	訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、往診料が算定されているレセプト数の算定割合
H/G	往診料が算定されているレセプト数のうち、往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合
2016年のA/各年度のA ※2016年を1とした換算	訪問診療料が算定されているレセプト数の年次平均成長率（2016年を起点としたもの）
2020年のA/各年度のA ※2020年を1とした換算	訪問診療料が算定されているレセプト数の年次平均成長率
2020年の (B/A) /各年度の (B/A) ※2020年を1とした換算	訪問診療における訪問診療時超音波（全般簡易）算定割合の年次平均成長率
2016年の (C+D*) /各年度の (C+D*) ※2016年を1とした換算	訪問診療における超音波（心臓精密）算定割合の年次平均成長率（2016年を起点としたもの）
2020年の (C+D*) /各年度の (C+D*) ※2020年を1とした換算	訪問診療における超音波（心臓精密）算定割合の年次平均成長率
2020年の E/各年度の E ※2020年を1とした換算	訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数算定割合の年次平均成長率
2020年の (E/B) /各年度の (E/B) ※2020年を1とした換算	訪問診療時超音波（全般簡易）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率
2020年の {E/ (C+D*)} /各年度の {E/ (C+D*)} ※2020年を1とした換算	超音波（心臓精密）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率
2020年の (F/A) /各年度の (F/A) ※2020年を1とした換算	訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率
2020年の (F/G) /各年度の (F/G) ※2020年を1とした換算	往診料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率
2020年の (F/B) /各年度の (F/B) ※2020年を1とした換算	訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率
2020年の (F/H) /各年度の (F/H) ※2020年を1とした換算	往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率
2016年のG/各年度のG ※2016年を1とした換算	往診料が算定されているレセプト数の年次平均成長率（2016年を起点としたもの）
2020年のG/各年度のG ※2020年を1とした換算	往診料が算定されているレセプト数の年次平均成長率
2020年の (G/A) /各年度の (G/A) ※2020年を1とした換算	訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、往診料が算定されているレセプト数算定割合の年次平均成長率
2020年の (H/G) /各年度の (H/G) ※2020年を1とした換算	往診料が算定されているレセプト数のうち、往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合の年次平均成長率

(表3) 超音波検査の2023年の算定割合

			A	G	G/A	B	C+D*	E	H	F
都道府県 No.	都道府県	年度	訪問診療料が算定されているレセプト数	往診料が算定されているレセプト数	訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、往診料が算定されているレセプト数の算定割合	訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数	訪問診療における超音波（心臓精密）の算定数（概算）	訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数	往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数	訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数
1	北海道	2023	587703	73678	12.54%	3115	768	159	2523	194
2	青森県	2023	81614	11221	13.75%	256	21	0	254	16
3	岩手県	2023	61452	9752	15.87%	177	38	5	219	5
4	宮城県	2023	171073	26606	15.55%	1137	356	20	1302	80
5	秋田県	2023	51055	8422	16.50%	118	20	5	137	5
6	山形県	2023	81360	18514	22.76%	263	26	0	419	22
7	福島県	2023	115870	18094	15.62%	252	16	5	219	5
8	茨城県	2023	205171	31040	15.13%	1201	111	23	974	219
9	栃木県	2023	128814	26098	20.26%	554	239	12	1036	56
10	群馬県	2023	240796	35147	14.60%	647	32	5	638	17
11	埼玉県	2023	818330	157768	19.28%	3877	2459	264	4202	268
12	千葉県	2023	694216	119037	17.15%	4024	526	37	3210	351
13	東京都	2023	1974689	476860	24.15%	13634	5137	769	10125	1291
14	神奈川県	2023	1360832	254334	18.69%	7824	4115	364	6297	603
15	新潟県	2023	124101	29091	23.44%	302	81	5	481	5
16	富山県	2023	88543	12105	13.67%	680	44	5	306	25
17	石川県	2023	112235	18029	16.06%	818	961	5	358	38
18	福井県	2023	40870	7667	18.76%	399	24	5	233	28
19	山梨県	2023	47343	9399	19.85%	221	104度	13	309	14
20	長野県	2023	170438	29509	17.31%	248	31	5	455	5
21	岐阜県	2023	220863	41436	18.76%	1183	150	10	802	110
22	静岡県	2023	319346	57566	18.03%	1316	465	21	1200	75
23	愛知県	2023	853653	167351	19.60%	4784	3526	445	4044	527
24	三重県	2023	160989	29526	18.34%	747	98	5	510	63
25	滋賀県	2023	100033	18736	18.73%	998	100	5	661	48
26	京都府	2023	288666	53442	18.51%	1951	769	228	1297	127
27	大阪府	2023	1572190	239673	15.24%	10036	4558	1389	3886	170
28	兵庫県	2023	638051	125599	19.68%	3275	956	83	2851	143
29	奈良県	2023	150370	27650	18.39%	458	352	17	696	29
30	和歌山県	2023	128972	24963	19.36%	350	84	5	434	17
31	鳥取県	2023	62456	11424	18.29%	231	70	5	391	13
32	島根県	2023	81316	14190	17.45%	200	112	5	197	5
33	岡山県	2023	183914	24556	13.35%	1119	261	80	660	69
34	広島県	2023	295187	51513	17.45%	2464	496	108	838	98
35	山口県	2023	128002	20380	15.92%	198	182	5	265	17
36	徳島県	2023	70783	13205	18.66%	221	108	11	298	5
37	香川県	2023	86043	17453	20.28%	1872	90	5	299	43
38	愛媛県	2023	160730	27469	17.09%	878	132	42	419	24
39	高知県	2023	58016	8352	14.40%	272	128	5	252	5
40	福岡県	2023	573893	75412	13.14%	2780	1440	148	1634	202
41	佐賀県	2023	100504	14229	14.15%	559	445	310	443	5
42	長崎県	2023	119553	19829	16.59%	985	747	251	308	13
43	熊本県	2023	157382	20854	13.25%	301	202	5	325	5
44	大分県	2023	145941	20406	13.98%	712	40	15	488	24
45	宮崎県	2023	107408	15479	14.41%	453	139	26	683	28
46	鹿児島県	2023	190453	34833	18.29%	463	343	64	1195	18
47	沖縄県	2023	93843	18116	19.30%	1285	112	10	984	73

			B/A	(C+D*)/A	E	E/B	E/(C+D*)	E/BとE/(C+D*)の ポイント	H/G	F/B	F/H	F/BとF/Hの ポイント
都道府県 No.	都道府県	年度	訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数の算定割合	訪問診療料が算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（心臓精密）の算定割合	訪問診療料と訪問診療時超音波（心臓精密）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数	訪問診療時超音波（全般簡易）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合	超音波（心臓精密）実施を起点とした訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ訪問診療料と超音波（心臓精密）が同日算定されているレセプト数の割合	差	往診料が算定されているレセプト数のうち、往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合	訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合	往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数のうち、訪問診療料と訪問診療時超音波（全般簡易）が同日算定されており、かつ往診料と何らかの超音波が同日算定されているレセプト数の割合	差
1	北海道	2023	0.53%	0.13%	0.03%	5.10%	2.70%	15.60%	3.42%	6.23%	7.69%	1.46%
2	青森県	2023	0.31%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.26%	6.25%	6.30%	0.05%
3	岩手県	2023	0.29%	0.06%	0.01%	2.82%	13.16%	10.33%	2.25%	2.82%	2.28%	-1.54%
4	宮城県	2023	0.66%	0.21%	0.01%	1.76%	5.62%	3.86%	4.89%	7.04%	6.14%	-1.89%
5	秋田県	2023	0.23%	0.04%	0.01%	4.24%	25.00%	20.76%	1.63%	4.24%	3.65%	-1.59%
6	山形県	2023	0.32%	0.03%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.26%	8.57%	5.25%	-1.11%
7	福島県	2023	0.22%	0.01%	0.00%	1.98%	31.25%	29.27%	1.21%	1.98%	2.28%	0.30%
8	茨城県	2023	0.59%	0.05%	0.01%	1.92%	2.72%	18.81%	3.14%	10.33%	22.48%	4.28%
9	栃木県	2023	0.43%	0.19%	0.01%	2.17%	5.02%	2.85%	3.93%	10.11%	5.41%	-1.70%
10	群馬県	2023	0.27%	0.01%	0.00%	0.77%	15.63%	14.85%	1.82%	2.63%	2.66%	0.04%
11	埼玉県	2023	0.47%	0.300%	0.03%	6.81%	10.74%	3.93%	2.66%	6.91%	6.38%	-1.53%
12	千葉県	2023	0.58%	0.08%	0.01%	0.92%	7.03%	6.11%	2.70%	8.72%	10.93%	2.21%
13	東京都	2023	0.69%	0.26%	0.04%	5.64%	14.97%	9.33%	2.12%	9.47%	12.75%	3.28%
14	神奈川県	2023	0.57%	0.302%	0.03%	4.65%	8.85%	4.19%	2.48%	7.71%	9.58%	1.87%
15	新潟県	2023	0.24%	0.07%	0.00%	1.66%	6.17%	4.52%	1.65%	1.66%	1.04%	-1.62%
16	富山県	2023	0.77%	0.05%	0.01%	0.74%	11.36%	10.63%	2.53%	3.68%	8.17%	4.49%
17	石川県	2023	0.73%	0.06%	0.00%	0.61%	0.52%	-0.09%	1.99%	4.65%	10.61%	5.96%
18	福井県	2023	0.98%	0.06%	0.01%	1.25%	20.83%	19.58%	3.04%	7.02%	12.02%	3.99%
19	山梨県	2023	0.47%	0.03%程度	0.03%	5.88%	100%程度	94.12%程度	3.25%	6.33%	4.53%	-1.80%
20	長野県	2023	0.15%	0.02%	0.00%	2.02%	16.13%	14.11%	1.54%	2.02%	1.10%	-1.92%
21	岐阜県	2023	0.54%	0.07%	0.00%	0.85%	6.67%	5.82%	1.94%	3.30%	13.72%	4.42%
22	静岡県	2023	0.41%	0.15%	0.01%	1.60%	4.52%	2.92%	2.08%	5.70%	6.25%	0.55%
23	愛知県	2023	0.56%	0.11%	0.05%	9.30%	12.62%	3.32%	2.42%	11.09%	13.05%	2.02%
24	三重県	2023	0.46%	0.06%	0.00%	0.67%	5.10%	4.43%	1.73%	8.43%	12.35%	3.92%
25	滋賀県	2023	0.40%	0.10%	0.00%	0.50%	5.00%	4.50%	3.65%	4.81%	7.26%	2.45%
26	京都府	2023	0.68%	0.27%	0.08%	11.68%	28.65%	17.96%	2.43%	6.51%	9.79%	3.28%
27	大阪府	2023	0.64%	0.29%	0.09%	13.84%	30.47%	16.63%	1.62%	1.69%	4.37%	2.68%
28	兵庫県	2023	0.51%	0.15%	0.01%	2.53%	8.68%	6.15%	2.27%	4.37%	5.02%	0.65%
29	奈良県	2023	0.30%	0.23%	0.01%	3.71%	4.83%	1.12%	2.52%	6.33%	4.17%	-1.17%
30	和歌山県	2023	0.27%	0.07%	0.00%	1.43%	5.95%	4.52%	1.74%	4.86%	3.92%	-1.94%
31	鳥取県	2023	0.37%	0.11%	0.01%	2.16%	7.14%	4.98%	3.42%	5.63%	3.32%	-1.30%
32	島根県	2023	0.25%	0.14%	0.01%	2.50%	4.46%	1.96%	1.39%	2.50%	2.54%	0.04%
33	岡山県	2023	0.61%	0.14%	0.04%	7.15%	39.65%	23.58%	2.89%	6.17%	10.45%	4.28%
34	広島県	2023	0.83%	0.17%	0.04%	4.38%	21.77%	17.39%	1.63%	3.98%	11.69%	7.76%
35	山口県	2023	0.15%	0.14%	0.00%	2.53%	2.75%	0.22%	1.30%	8.59%	6.42%	-1.17%
36	徳島県	2023	0.31%	0.15%	0.02%	4.98%	10.19%	5.21%	2.26%	2.26%	1.68%	-1.58%
37	香川県	2023	2.18%	0.10%	0.01%	0.27%	5.56%	5.29%	1.71%	2.30%	14.38%	12.08%
38	愛媛県	2023	0.55%	0.08%	0.03%	4.78%	31.82%	27.03%	1.53%	2.73%	5.73%	2.99%
39	高知県	2023	0.47%	0.22%	0.01%	1.84%	3.91%	2.07%	3.02%	1.84%	1.98%	0.15%
40	福岡県	2023	0.48%	0.25%	0.03%	5.32%	10.28%	4.95%	2.17%	2.77%	12.35%	1.00%
41	佐賀県	2023	0.56%	0.14%	0.01%	35.48%	69.66%	34.21%	3.11%	0.89%	1.13%	0.23%
42	長崎県	2023	0.82%	0.62%	0.23%	26.48%	35.04%	8.12%	1.55%	1.32%	4.22%	2.90%
43	熊本県	2023	0.19%	0.13%	0.00%	1.66%	2.48%	0.81%	1.56%	1.66%	1.54%	-1.12%
44	大分県	2023	0.49%	0.03%	0.01%	2.11%	37.94%	35.19%	2.89%	3.37%	4.92%	1.55%
45	宮崎県	2023	0.42%	0.13%	0.02%	5.74%	18.71%	12.97%	4.41%	6.18%	4.10%	-1.08%
46	鹿児島県	2023	0.24%	0.18%	0.03%	13.82%	18.66%	4.84%	3.43%	3.89%	1.51%	-1.38%
47	沖縄県	2023	1.31%	0.12%	0.01%	0.78%	8.93%	8.15%	5.45%	5.68%	7.42%	1.74%

<注釈/案件設定>

- #VALUE!の部分は「<10」の値が計算時に含まれているものであり、<10を5とし仮定して置き換える。
- 算定数「0」の場合は割合が出せないため、「算定なし」と記載し、以降の年度で算定数が「1」以上のものがある場合には、その年度から成長率換算を行うとする。
- 訪問診療時の超音波（心臓精密）で2回以上算定するのは、2回と仮定する。例）仮に10となっていた部分は、10×2の20として算出

(表4) 直近4年（2020年から2023年）の年次平均成長率

				A	G	G/A	2020年のA/ 各年度のA ※2020年を 1とした換 算 小数点0.01	2020年のG/ 各年度のG ※2020年を 1とした換 算 小数点0.01		B	C+D*	E	H	F
都道府県 No.	都道府県	年度	訪問診療料が 算定されてい るレセプト数	往診料が算定 されているレ セプト数	訪問診療料が 算定されてい るレセプト数 のうち、往診 料が算定され ているレセプ ト数の算定期 合	訪問診療料 が算定され ているレセ プト数の年次 平均成長 率	訪問診療料 が算定され ているレセ プト数の年次 平均成長率	訪問診療料と 訪問診療時超 音波（全般簡 易）が同日算 定されている レセプト数	訪問診療にお ける超音波 （心臓精密） の算定期（概 算）	訪問診療料と 超音波（全般 簡易）が同日 算定されてお り、かつ訪問 診療料と超音 波（心臓精 密）が同日算 定されている レセプト数	往診料と何ら かの超音波が 同日算定され ているレセプ ト数	訪問診療料と 訪問診療時超 音波（全般簡 易）が同日算 定されてお り、かつ往診 料と何らかの 超音波が同日 算定されてい るレセプト数		
1	北海道	2023	587703	73678	12.54%	1.00	1.29	3115	768	159	2523	194		
2	青森県	2023	81614	11221	13.75%	1.00	0.99	256	21	0	254	16		
3	岩手県	2023	61452	9752	15.87%	0.98	1.17	177	38	5	219	5		
4	宮城県	2023	171073	26606	15.58%	1.25	1.26	1137	356	20	1302	80		
5	秋田県	2023	51055	8422	16.50%	0.88	0.96	118	20	5	137	5		
6	山形県	2023	81360	18514	22.76%	0.95	1.06	263	26	0	419	22		
7	福島県	2023	115870	18094	15.62%	0.97	1.01	252	16	5	219	5		
8	茨城県	2023	205171	31040	15.13%	1.14	1.12	1201	111	23	974	219		
9	栃木県	2023	128814	26098	20.26%	1.08	1.13	554	239	12	1036	56		
10	群馬県	2023	240796	35147	14.60%	0.96	1.23	647	32	5	638	17		
11	埼玉県	2023	818330	157768	19.28%	1.41	1.33	3877	2459	264	4202	268		
12	千葉県	2023	694216	119037	17.15%	1.27	1.41	4024	526	37	3210	351		
13	東京都	2023	1974689	478660	24.15%	1.35	1.58	13634	5137	769	10125	1291		
14	神奈川県	2023	1360832	254334	18.69%	1.28	1.44	7824	4115	364	6297	603		
15	新潟県	2023	124101	29091	23.44%	0.96	1.02	302	81	5	481	5		
16	富山県	2023	88543	12105	13.67%	0.98	1.12	680	44	5	306	25		
17	石川県	2023	112235	18029	16.06%	0.97	1.15	818	961	5	358	38		
18	福井県	2023	40870	7667	18.76%	1.00	1.08	399	24	5	233	28		
19	山梨県	2023	47343	9399	19.85%	1.04	1.09	221	108度	13	309	14		
20	長野県	2023	170438	29509	17.31%	1.07	0.98	248	31	5	455	5		
21	岐阜県	2023	220863	41436	18.76%	1.05	1.15	1183	150	10	802	110		
22	静岡県	2023	319346	57566	18.03%	1.18	1.27	1316	465	21	1200	75		
23	愛知県	2023	853653	167351	19.60%	1.24	1.47	4784	3526	445	4044	527		
24	三重県	2023	160989	29526	18.34%	0.99	1.10	747	98	5	510	63		
25	滋賀県	2023	100033	18736	18.73%	1.12	1.15	998	100	5	661	48		
26	京都府	2023	288666	53442	18.51%	1.03	1.07	1951	769	228	1297	127		
27	大阪府	2023	1572190	239673	15.24%	1.18	1.38	10036	4558	1389	3886	170		
28	兵庫県	2023	638051	125599	19.68%	1.15	1.20	3275	956	83	2851	143		
29	奈良県	2023	150370	27650	18.39%	1.09	1.11	458	352	17	696	29		
30	和歌山県	2023	128972	24963	19.36%	0.93	1.05	350	84	5	434	17		
31	鳥取県	2023	62456	11424	18.29%	0.93	1.02	231	70	5	391	13		
32	島根県	2023	81316	14190	17.45%	0.84	0.82	200	112	5	197	5		
33	岡山県	2023	183914	24556	13.35%	0.92	1.08	1119	261	80	660	69		
34	広島県	2023	295187	51513	17.45%	0.97	1.06	2464	496	108	838	98		
35	山口県	2023	128002	20380	15.92%	1.20	1.38	198	182	5	265	17		
36	徳島県	2023	70783	13205	18.66%	0.96	1.05	221	108	11	298	5		
37	香川県	2023	86043	17453	20.28%	1.01	1.07	1872	90	5	299	43		
38	愛媛県	2023	160730	27469	17.09%	0.97	1.00	878	132	42	419	24		
39	高知県	2023	58016	8352	14.40%	1.02	1.18	272	128	5	252	5		
40	福岡県	2023	573893	75412	13.44%	0.95	1.40	2780	1440	148	1634	202		
41	佐賀県	2023	100504	14229	14.16%	0.99	1.14	559	445	310	443	5		
42	長崎県	2023	119553	19829	16.59%	0.96	1.08	985	747	251	308	13		
43	熊本県	2023	157382	20854	13.25%	0.90	1.17	301	202	5	325	5		
44	大分県	2023	145941	20406	13.98%	0.88	1.09	712	40	15	488	24		
45	宮崎県	2023	107408	15479	14.41%	0.99	1.27	453	139	26	683	28		
46	鹿児島県	2023	190453	34833	18.29%	0.99	1.19	463	343	64	1195	18		
47	沖縄県	2023	93843	18116	19.30%	1.31	1.72	1285	112	10	984	73		

			2020年の (B/A) / 各 年度の (B/A) ※2020年を 1とした換 算 小数点0.01	2020年の (C+D*) / 各 年度の (C+D*) ※2020年を 1とした換 算 小数点0.01	2020年のE/ 各年度のE ※2020年を 1とした換 算 小数点0.01	2020年の (E/B) / 各 年度の (E/B) ※2020年を1 とした換 算 小数点0.01	2020年の (E / (C+D*)) / 各年度の (E / (C+D*)) ※2020年を1 とした換 算 小数点0.01	(2020年の (E/B) / 各 年度の (E/B)) と 2020年の (E / (C+D*)) と 2020年の (E / (C+D*)) の ポイント	2020年の (H/G) / 各 年度の (H/G) ※2020年を 1とした換 算 小数点0.01	2020年の (F/B) / 各 年度の (F/B) ※2020年を1 とした換 算 小数点0.01	2020年の (F/H) / 各 年度の (F/H) ※2020年を1 とした換 算 小数点0.01	2020年の (F/B) / 各 年度の (F/B) と 2020年の (F/H) / 各 年度の (F/H) の ポイント
都道府県 No.	都道府県	年度	訪問診療に おける訪問 診療時超音 波（全般簡 易）算定期 の年次平均 成長率	訪問診療に おける超音 波（心臓精 密）算定期 の年次平均 成長率	訪問診療料 と訪問診療 時超音波 （全般簡 易）が同日 算定されて おり、かつ 訪問診療料 と超音波 （心臓精 密）が同日 算定されて いるレセプ ト数算定期 の年次平均 成長率	訪問診療料 と訪問診療 時超音波 （全般簡 易）が同日 算定されて おり、かつ 訪問診療料 と超音波 （心臓精 密）が同日 算定されて いるレセプ ト数の割合 の年次平均 成長率	訪問診療料 と訪問診療 時超音波 （全般簡 易）が同日 算定されて おり、かつ 訪問診療料 と超音波 （心臓精 密）が同日 算定されて いるレセプ ト数の割合 の年次平均 成長率	差	往診料が算 定されている レセプト数 のうち、 往診料と何 らかの超音 波が同日算 定されている レセプト数 の割合の年 次平均成長 率	訪問診療料と 超音波（全般 簡易）が同日 算定されてお り、かつ往診 料と何らかの 超音波が同日 算定されてい るレセプト数 の割合の年次 平均成長率	往診料と何ら かの超音波が 同日算定され ているレセプ ト数のうち、 訪問診療料と 超音波（全般 簡易）が同日 算定されてお り、かつ往診 料と何らかの 超音波が同日 算定されてい るレセプト数 の割合の年次 平均成長率	差
1	北海道	2023	1.56	1.09	2.45	1.58	2.25	0.68	1.46	1.15	1.18	0.03
2	青森県	2023	1.31	3.48	算定なし	算定なし	算定なし	0.71	0.80	1.64	0.94	0.84
3	岩手県	2023	1.35	0.99	0.88	0.66	0.89	0.24	1.05	0.71	0.77	0.06
4	宮城県	2023	1.31	1.06	0.68	0.52	0.64	0.12	1.30	0.66	0.64	-0.01
5	秋田県	2023	2.17	1.81	1.00	1.00	1.00	0.00	1.05	1.00	1.00	0.00
6	山形県	2023	1.76	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.55	2.34	2.18	0.34
7	福島県	2023	1.15	0.83	0.97	0.76	1.00	0.24	1.52	0.81	0.65	-0.16
8	茨城県	2023	1.65	0.69	1.20	0.73	1.74	1.01	1.23	1.52	2.16	0.64
9	栃木県	2023	0.93	1.76	0.60	0.64	0.34	-0.30	1.20	1.04	0.90	-0.14
10	群馬県	2023	0.79	0.49	0.84	1.07	1.72	0.65	1.41	1.22	0.66	-0.56
11	埼玉県	2023	1.58	1.93	2.45	1.55	1.27	-0.28	1.61	1.06	0.98	-0.07
12	千葉県	2023	1.93	0.78	0.50	0.26	0.63	0.38	1.36	1.07	1.35	0.29
13	東京都	2023	1.25	0.78	0.45	0.36	0.58	0.22	1.09	1.17	1.06	-0.11
14	神奈川県	2023	1.32	1.20	1.45	1.10	1.21	0.10	1.01	1.04	1.14	0.10
15	新潟県	2023	1.76	1.05	0.96	0.49	0.47	-0.02	1.74	0.25	0.28	0.04
16	富山県	2023	1.84	0.85	0.83	0.45	0.98	0.52	0.84	0.54	1.26	0.721
17	石川県	2023	1.15	1.25	0.86	0.75	0.68	-0.06	1.21	1.90	1.83	-0.07
18	福井県	2023	1.09	1.41	0.92	1.27	0.92	-0.35	1.47	1.61	1.26	-0.35
19	山梨県	2023	1.32	0.88程度	2.29	1.74	2.60程度	-0.73程度	1.46	1.88	1.76	-0.12
20	長野県	2023	1.20	0.63	0.90	0.75	1.42	0.67	1.53	0.75	0.67	-0.08
21	岐阜県	2023	2.23	0.66	0.83	0.37	1.27	0.89	1.58	1.46	2.11	0.71
22	静岡県	2023	1.42	0.61	0.46	0.33	0.76	0.43	1.39	1.65	1.63	-0.02
23	愛知県	2023	1.55	1.20	8.36	4.10	8.51	1.20	1.08	1.19	1.48	0.29
24	三重県	2023	1.53	1.67	0.87	0.57	0.52	-0.05	1.28	0.90	1.12	0.22
25	滋賀県	2023	1.40	0.95	0.87	0.62	0.91	0.29	1.50	2.28	2.13	-0.15
26	京都府	2023	1.03	0.79	0.71	0.68	0.89	0.21	1.62	2.34	1.63	-0.71
27	大阪府	2023	1.46	1.54	3.06	2.09	2.99	-0.10	1.00	0.95	1.26	0.31
28	兵庫県	2023	1.42	0.84	1.04	0.73	1.23	0.50	0.92	0.91	1.40	0.49
29	奈良県	2023	1.29	0.64	0.70	0.55	1.11	0.56	1.05	1.03	1.38	0.35
30	和歌山県	2023	1.39	1.00	0.89	0.64	0.89	0.25	1.33	2.18	2.43	0.25
31	鳥取県	2023	1.14	1.98	0.91	0.79	0.46	-0.34	0.94	0.43	0.56	0.13
32	島根県	2023	1.46	0.97	0.98	0.67	1.01	0.34	1.05	0.67	1.17	0.50
33	岡山県	2023	1.21	0.97	0.97	0.80	1.00	0.20	1.44	0.92	0.81	-0.11
34	広島県	2023	1.82	1.06	4.10	2.26	2.95	1.50	0.98	0.91	1.83	0.92
35	山口県	2023	0.83	1.20	0.87	1.05	0.72	-0.33	1.13	1.18	0.73	-0.46
36	徳島県	2023	1.23	0.55	0.78	0.63	1.40	0.77	1.08	0.74	0.88	0.13
37	香川県	2023	0.95	0.60	0.91	0.95	1.50	0.55	0.26	1.31	1.84	-0.53
38	愛媛県	2023	1.02	0.79	1.53	1.50	1.92	0.42	1.08	2.15	2.29	0.09
39	高知県	2023	2.38	0.75	1.00	1.00	1.00	0.00	1.04	0.40	0.82	0.41
40	福岡県	2023	1.50	2.35	4.50	3.50	1.91	-1.09	1.63	1.78	1.43	-0.35
41	佐賀県	2023	1.44	0.99	2.42	1.68	2.45	0.77	1.30	0.61	0.67	0.06
42	長崎県	2023	0.72	0.85	1.03	1.44	1.22	-0.22	0.74	1.33	1.26	-0.04
43	熊本県	2023	1.72	0.75	0.82	0.48	1.09	0.62	1.33	0.48	0.64	0.17
44	大分県	2023	1.58	1.17	0.72	0.55	1.14	0.59	1.41	2.68	3.13	0.44
45	宮崎県	2023	1.76	3.10	4.30	2.45	1.38	-1.06	1.57	2.63	2.82	0.19
46	鹿児島県	2023	1.40	1.15	0.92	0.65	0.80	0.14	0.90	2.36	3.35	1.00
47	沖縄県	2023	2.82	2.35	1.39	0.55	0.59	0.04	1.22	0.57	0.99	0.42

(別紙) 表2の条件でレセプト数を年度別・都道府県別に3次データ

都道府県	年度	B	A	C	D	E	F	H	G
北海道	2016		372420	245	15			796	58290
北海道	2017		395746	212	<10			871	58595
北海道	2018		419567	366	10			1036	56948
北海道	2019		445288	453	<10			1164	56787
北海道	2020	1605	471166	530	18	52	87	1339	57121
北海道	2021	2086	506814	411	12	17	119	1610	57135
北海道	2022	2500	536821	562	21	32	125	2003	64719
北海道	2023	3115	587703	662	53	159	194	2523	73678
青森県	2016		65562	18	<10			463	10624
青森県	2017		65552	16				475	10964
青森県	2018		68338	16	<10			556	11184
青森県	2019		71249	11				572	10948
青森県	2020	179	74734	<10			14	364	11363
青森県	2021	264	77558	<10			12	314	11164
青森県	2022	106	78146	21		<10	<10	278	11365
青森県	2023	256	81614	21			16	254	11221
岩手県	2016		44454	12	<10			128	8137
岩手県	2017		46901	12				196	8436
岩手県	2018		48825	25	<10			185	8515
岩手県	2019		51031	23	<10			147	8584
岩手県	2020	116	54307	24		<10		178	8302
岩手県	2021	126	57375	21	<10	<10	<10	168	8353
岩手県	2022	147	58731	45	<10	<10	<10	197	9097
岩手県	2023	177	61452	28	<10	<10	<10	219	9752
宮城県	2016		111533	74	<10			532	18750
宮城県	2017		120435	116	<10			675	20177
宮城県	2018		127143	104	11			726	18917
宮城県	2019		131104	161	21			833	19607
宮城県	2020	709	139955	232	31	24	76	795	21168
宮城県	2021	794	151111	145	15	12	85	833	23724
宮城県	2022	949	159296	244	18	21	71	967	26096
宮城県	2023	1137	171073	326	36	20	80	1302	26606
秋田県	2016		47405	<10				82	12150
秋田県	2017		47322	<10				87	11370
秋田県	2018		49658	<10	<10			97	9441
秋田県	2019		48986	22				118	8947
秋田県	2020	37	50804	11				136	8745
秋田県	2021	60	51087	10	<10			118	8327
秋田県	2022	42	50124	<10				142	8835
秋田県	2023	118	51055	10		<10	<10	137	8422
山形県	2016		66601	<10				159	20976
山形県	2017		68333	<10				167	20813

山形県	2018		71554	27				309	18602
山形県	2019		75048	20	<10			308	18145
山形県	2020	140	77082	64	<10	<10	<10	255	17431
山形県	2021	194	79888	73	<10	<10	21	300	17690
山形県	2022	220	80105	39		<10	18	360	18143
山形県	2023	263	81360	16			22	419	18514
福島県	2016		100862	34				118	20439
福島県	2017		102313	35	<10			194	19802
福島県	2018		104712	28				143	18579
福島県	2019		104962	33				174	17758
福島県	2020	204	108138	18			<10	142	17833
福島県	2021	191	112699	16		<10	<10	154	17990
福島県	2022	216	113065	21		<10	<10	176	18387
福島県	2023	252	115870	16		<10	<10	219	18094
茨城県	2016		130027	60	<10			510	24533
茨城県	2017		140086	99	11			603	26673
茨城県	2018		151038	96	<10			604	25487
茨城県	2019		160148	93	<10			658	25377
茨城県	2020	610	171475	124	<10	16	73	702	27603
茨城県	2021	675	182069	145	<10	11	57	790	29131
茨城県	2022	812	189834	112	<10	12	143	802	31034
茨城県	2023	1201	205171	101	14	23	219	974	31040
栃木県	2016		74700	145	<10			656	23801
栃木県	2017		81364	70	<10			541	23462
栃木県	2018		87671	43	<10			606	22446
栃木県	2019		94443	42	<10			677	22281
栃木県	2020	473	102228	98	<10	16	46	762	23045
栃木県	2021	544	111811	115	<10	19	56	795	24271
栃木県	2022	463	117453	156	12	13	58	929	25320
栃木県	2023	554	128814	229	12	12	56	1036	26098
群馬県	2016		145826	52	<10			392	30297
群馬県	2017		157445	47	<10			504	31411
群馬県	2018		177051	45	<10			560	31339
群馬県	2019		191866	61	<10			608	29490
群馬県	2020	694	202934	45		<10	15	369	28691
群馬県	2021	660	215957	30	<10		17	460	29975
群馬県	2022	604	225461	16	<10		10	482	33960
群馬県	2023	647	240796	22		<10	17	638	35147
埼玉県	2016		416338	634	<10			996	86151
埼玉県	2017		463316	476	<10			1089	93729
埼玉県	2018		526595	738	43			1461	98537
埼玉県	2019		581039	718	54			1423	106048
埼玉県	2020	1939	645314	899	79	85	127	1960	118532
埼玉県	2021	2332	709360	1378	171	88	184	2520	138822

埼玉県	2022	2853	754365	1677	139	137	207	3004	152024
埼玉県	2023	3877	818330	2117	275	264	268	4202	157768
千葉県	2016		386175	198	15			1121	71178
千葉県	2017		419800	253	<10			1138	73325
千葉県	2018		456446	337	23			1377	73444
千葉県	2019		492186	396	50			1511	76281
千葉県	2020	1650	548347	432	32	59	135	1671	84363
千葉県	2021	2528	598232	423	16	40	157	1956	93252
千葉県	2022	3318	638024	436	25	51	296	2523	107300
千葉県	2023	4024	694216	494	30	37	351	3210	119037
東京都	2016		1184263	2156	100			3067	245129
東京都	2017		1265450	2506	157			3737	254976
東京都	2018		1380191	3155	245			4322	265319
東京都	2019		1479469	4130	243			4552	281100
東京都	2020	8810	1589940	4846	215	1371	712	5907	302571
東京都	2021	9963	1707089	4571	219	697	851	6840	357427
東京都	2022	11374	1817874	4422	220	836	942	8310	442031
東京都	2023	13634	1974689	4699	321	769	1291	10125	476860
神奈川県	2016		796881	1052	35			2150	142370
神奈川県	2017		866028	1190	49			2292	147869
神奈川県	2018		942368	1404	45			2648	151963
神奈川県	2019		1017376	1572	44			3004	163163
神奈川県	2020	4882	1116897	2724	111	206	363	4322	176422
神奈川県	2021	5329	1201659	3525	110	160	375	4648	195216
神奈川県	2022	5956	1272651	3957	116	240	392	4914	221836
神奈川県	2023	7824	1360832	3895	137	364	603	6297	254334
新潟県	2016		108775	50				237	35488
新潟県	2017		110117	36	<10			327	34573
新潟県	2018		114335	38	<10			376	30658
新潟県	2019		115570	30	<10			338	29602
新潟県	2020	148	119400	28	<10	<10	10	271	28476
新潟県	2021	152	121399	28	<10	<10	<10	287	27738
新潟県	2022	276	121134	54	<10	<10	14	345	28168
新潟県	2023	302	124101	71	<10	<10	<10	481	29091
富山県	2016		56273	42	<10			289	11236
富山県	2017		59518	33	<10			374	11125
富山県	2018		64729	78	<10			380	10719
富山県	2019		67236	49	<10			343	10654
富山県	2020	308	73810	33	<10	<10	21	324	10779
富山県	2021	382	80253	32	<10	<10	17	313	10497
富山県	2022	515	84286	39	<10	14	15	300	11592
富山県	2023	680	88543	34		<10	25	306	12105
石川県	2016		77307	97				133	16370
石川県	2017		81298	427				166	15999

石川県	2018		85721	719	<10			193	16153
石川県	2019		89394	733				263	16309
石川県	2020	612	96251	658		<10	15	258	15718
石川県	2021	643	102934	863	<10		21	263	15729
石川県	2022	729	107633	923	<10		32	335	16854
石川県	2023	818	112235	951	<10	<10	38	358	18029
福井県	2016		31128	<10				32	7980
福井県	2017		31206	<10				32	7659
福井県	2018		32796	<10				39	7268
福井県	2019		33347	<10	<10			60	7054
福井県	2020	322	36107	<10	<10		14	147	7125
福井県	2021	506	37554	12	<10	<10	41	249	7246
福井県	2022	469	38772	16	<10	<10	24	224	7916
福井県	2023	399	40870	14	<10	<10	28	233	7667
山梨県	2016		32788	21				204	8760
山梨県	2017		34434	<10				184	9018
山梨県	2018		37015	<10				195	8432
山梨県	2019		38925	<10				180	8536
山梨県	2020	148	41748	13		<10	<10	194	8612
山梨県	2021	178	44352	20程度		20	<10	195	8760
山梨県	2022	156	45102	20程度	<10	14	<10	365	9281
山梨県	2023	221	47343	10程度		13	14	309	9399
長野県	2016		137886	19	<10			262	29881
長野県	2017		137919	43				281	29698
長野県	2018		144628	28	<10			347	29031
長野県	2019		147090	59	<10			329	28874
長野県	2020	186	152955	34		<10	<10	303	30041
長野県	2021	259	162200	22	<10	<10	<10	378	31115
長野県	2022	216	164596	12		<10	<10	399	30770
長野県	2023	248	170438	21	<10	<10	<10	455	29509
岐阜県	2016		139388	132	<10			301	33678
岐阜県	2017		149219	95	<10			316	35596
岐阜県	2018		160337	64	<10			415	34603
岐阜県	2019		170358	151	16			417	35460
岐阜県	2020	440	183773	158	<10	10	28	444	36178
岐阜県	2021	735	194790	135	10	11	51	648	36207
岐阜県	2022	955	205788	156	<10	<10	107	771	39577
岐阜県	2023	1183	220863	130	<10	10	110	802	41436
静岡県	2016		179298	428	<10			411	42054
静岡県	2017		199220	334	14			455	42454
静岡県	2018		223087	554	10			577	42432
静岡県	2019		237182	559	17			504	42534
静岡県	2020	754	259397	586	45	37	26	680	45431
静岡県	2021	1115	277830	488	29	20	64	816	50207

静岡県	2022	998	296037	414	37	23	75	1050	54190
静岡県	2023	1316	319346	407	25	21	75	1200	57566
愛知県	2016		479229	412	30			1473	102506
愛知県	2017		520033	464	31			1800	107373
愛知県	2018		580630	1260	41			1985	103444
愛知県	2019		621151	2095	68			3332	108720
愛知県	2020	2426	670321	2176	38	55	224	2550	114003
愛知県	2021	2841	725795	2137	65	85	310	2702	128104
愛知県	2022	3423	777357	2567	90	149	320	3011	155139
愛知県	2023	4784	853653	3396	190	445	527	4044	167351
三重県	2016		104211	16	<10			289	28061
三重県	2017		112833	<10	<10			259	28533
三重県	2018		123049	22	<10			276	27132
三重県	2019		129974	45	<10			327	27465
三重県	2020	425	140281	41	<10	<10	40	362	26878
三重県	2021	480	147409	25	<10		45	403	26779
三重県	2022	479	151452	18			30	351	28909
三重県	2023	747	160989	88	<10	<10	63	510	29526
滋賀県	2016		70206	218	<10			343	17645
滋賀県	2017		74285	149	<10			322	17453
滋賀県	2018		77372	115	<10			376	16691
滋賀県	2019		80654	75	<10			338	15749
滋賀県	2020	617	86604	81	<10	<10	13	382	16265
滋賀県	2021	975	91363	79	10	24	31	635	18657
滋賀県	2022	1008	94505	100	<10	18	36	600	21467
滋賀県	2023	998	100033	80	<10	<10	48	661	18736
京都府	2016		192650	407	<10			543	48379
京都府	2017		204143	405	<10			664	48643
京都府	2018		221020	574	12			713	49228
京都府	2019		233761	559	10			769	49162
京都府	2020	1620	247373	816	14	277	45	748	49778
京都府	2021	1669	260863	685	10	232	66	793	50471
京都府	2022	1753	271841	723	<10	232	113	1004	55611
京都府	2023	1951	288666	749	<10	228	127	1297	53442
大阪府	2016		902913	1479	22			1263	181537
大阪府	2017		976317	1721	15			1514	183407
大阪府	2018		1071678	2056	49			1652	168044
大阪府	2019		1159711	2533	59			1715	162093
大阪府	2020	5509	1262039	2261	67	364	98	2831	174070
大阪府	2021	6225	1354322	2096	86	177	107	3135	198429
大阪府	2022	7880	1443835	3431	183	577	164	3539	236366
大阪府	2023	10036	1572190	4386	128	1389	170	3886	239673
兵庫県	2016		401837	682	21			1929	101754
兵庫県	2017		428628	596	21			2212	102457

兵庫県	2018		465202	661	16			2157	98399
兵庫県	2019		495302	919	51			2234	100360
兵庫県	2020	1930	535030	849	75	67	93	2592	104736
兵庫県	2021	2145	570496	978	58	71	55	2434	113461
兵庫県	2022	2537	600605	837	36	58	107	2711	126302
兵庫県	2023	3275	638051	840	54	83	143	2851	125599
奈良県	2016		87950	138	23			196	23418
奈良県	2017		96084	248	17			472	23822
奈良県	2018		105978	328	32			613	24092
奈良県	2019		113008	382	27			575	24294
奈良県	2020	294	124421	404	28	20	18	598	24962
奈良県	2021	351	133475	322	11	18	<10	679	26260
奈良県	2022	387	141042	292	12	<10	<10	612	28278
奈良県	2023	458	150370	330	13	17	29	696	27650
和歌山県	2016		93662	40				140	30512
和歌山県	2017		96737	76				238	29548
和歌山県	2018		105162	105				294	26359
和歌山県	2019		110672	77				271	24919
和歌山県	2020	224	115141	75		<10	<10	310	23686
和歌山県	2021	315	120702	13		<10	12	308	24418
和歌山県	2022	375	123645	63		<10	15	300	25107
和歌山県	2023	350	128972	84	<10	<10	17	434	24963
鳥取県	2016		45088	22	<10			130	11989
鳥取県	2017		48319	28				152	11883
鳥取県	2018		51914	19	<10			253	11844
鳥取県	2019		53677	35	<10			250	11249
鳥取県	2020	183	56604	22	<10	<10	24	406	11192
鳥取県	2021	190	58564	52	17		15	395	10984
鳥取県	2022	192	59406	25		<10	<10	316	11068
鳥取県	2023	231	62456	36		<10	13	391	11424
島根県	2016		74719	74	<10			251	20582
島根県	2017		75556	78				261	19721
島根県	2018		77590	73	<10			269	18185
島根県	2019		78611	116	<10			245	18213
島根県	2020	134	79747	103	<10	<10	<10	230	17341
島根県	2021	152	81842	133	<10	<10	<10	244	15315
島根県	2022	180	80734	109	<10	<10	<10	186	14357
島根県	2023	200	81316	102		<10	<10	197	14190
岡山県	2016		144045	201	<10			359	25421
岡山県	2017		148479	199	<10			370	26331
岡山県	2018		156779	159	<10			299	24112
岡山県	2019		161356	191	<10			385	23796
岡山県	2020	849	169157	237	<10	76	57	440	23621
岡山県	2021	888	175635	213	<10	53	68	485	22134

岡山県	2022	994	179584	187	11	56	71	559	23904
岡山県	2023	1119	183914	251	23	80	69	660	24556
広島県	2016		210637	236	13			647	56724
広島県	2017		219758	231	<10			663	56332
広島県	2018		232927	245	<10			639	50776
広島県	2019		240705	217	<10			702	49694
広島県	2020	1185	257819	398	<10	23	52	812	48799
広島県	2021	1650	271379	433	<10	11	57	809	49140
広島県	2022	2152	279666	399	<10	<10	73	851	52008
広島県	2023	2464	295187	486	12	108	98	838	51513
山口県	2016		87539	44	<10			112	15227
山口県	2017		94361	47	<10			139	15323
山口県	2018		97812	58	<10			105	14122
山口県	2019		102046	61				115	13806
山口県	2020	207	110832	131	<10	<10	15	170	14818
山口県	2021	162	118367	125	<10		12	186	16939
山口県	2022	139	122046	175	<10	<10	16	233	19312
山口県	2023	198	128002	172	<10	<10	17	265	20380
徳島県	2016		52835	201	<10			279	14990
徳島県	2017		53778	148	<10			281	14427
徳島県	2018		58200	155	<10			297	12941
徳島県	2019		61149	160	<10			296	12959
徳島県	2020	164	64835	169	11	13	<10	261	12548
徳島県	2021	191	67835	168	<10	10	14	296	12407
徳島県	2022	203	68336	123		<10	16	312	13827
徳島県	2023	221	70783	98	<10	11	<10	298	13205
香川県	2016		62128	70	<10			64	17787
香川県	2017		64992	93	<10			71	17809
香川県	2018		69792	104	<10			50	16476
香川県	2019		73553	83	<10			38	16411
香川県	2020	1787	78051	125	<10	<10	<10	64	16352
香川県	2021	1700	81384	64	<10		<10	82	16609
香川県	2022	1678	82631	92	<10	<10	14	172	18323
香川県	2023	1872	86043	80	<10	<10	43	299	17453
愛媛県	2016		119412	115	<10			285	29589
愛媛県	2017		127047	138	<10			402	29124
愛媛県	2018		135587	115	<10			344	27658
愛媛県	2019		140197	143	<10			368	27925
愛媛県	2020	785	145926	141	<10	25	10	390	27595
愛媛県	2021	763	149833	163	<10	76	19	391	26736
愛媛県	2022	949	154705	142	<10	61	22	347	27742
愛媛県	2023	878	160730	122	<10	42	24	419	27469
高知県	2016		45931	32	<10			111	6583
高知県	2017		47140	<10				85	6722

高知県	2018		49269	19				214	6919
高知県	2019		51783	16				271	7284
高知県	2020	110	54707	23	<10		<10	206	7068
高知県	2021	135	56538	43			<10	225	7059
高知県	2022	133	55663	99	<10		<10	251	7973
高知県	2023	272	58016	128		<10	<10	252	8352
福岡県	2016		364273	617	<10			690	71535
福岡県	2017		388407	486	<10			607	63651
福岡県	2018		418254	656	<10			723	61303
福岡県	2019		441615	634	<10			820	56111
福岡県	2020	1522	470916	492	<10	27	62	718	54024
福岡県	2021	1795	503085	709	<10	45	95	912	58220
福岡県	2022	2336	529954	1247	12	105	111	1134	71730
福岡県	2023	2780	573893	1430	26	148	202	1634	75412
佐賀県	2016		68295	39	<10			167	12862
佐賀県	2017		72208	20	<10			189	12390
佐賀県	2018		77278	32	<10			324	12575
佐賀県	2019		82046	99	<10			442	12552
佐賀県	2020	343	88585	388	<10	113	<10	297	12429
佐賀県	2021	496	93590	354	<10	244	14	345	12494
佐賀県	2022	501	95177	429		285	<10	377	13910
佐賀県	2023	559	100504	435	<10	310	<10	443	14229
長崎県	2016		93026	369	<10			343	23736
長崎県	2017		96759	569	<10			358	21678
長崎県	2018		102315	599				405	19335
長崎県	2019		104877	620	<10			435	19032
長崎県	2020	1261	109525	798	<10	223	<10	389	18408
長崎県	2021	1494	115138	1111	<10	392	11	318	18497
長崎県	2022	1047	116888	828	<10	214	12	338	20139
長崎県	2023	985	119553	737	<10	251	13	308	19829
熊本県	2016		95211	71	<10			318	22323
熊本県	2017		102161	49				284	20802
熊本県	2018		110607	56	<10			269	19593
熊本県	2019		119528	161	<10			244	17845
熊本県	2020	143	128595	211		<10	<10	209	17778
熊本県	2021	184	138690	244	<10		11	281	17658
熊本県	2022	192	147040	211	<10	<10	<10	309	20827
熊本県	2023	301	157382	192	<10	<10	<10	325	20854
大分県	2016		98538	10	<10			209	21106
大分県	2017		105151	18				276	21608
大分県	2018		113475	14				325	20953
大分県	2019		118948	26				281	19752
大分県	2020	398	128564	30	<10		<10	318	18773
大分県	2021	426	136216	40			10	318	18403

大分県	2022	522	139454	61	<10	20	19	419	21118
大分県	2023	712	145941	40	<10	15	24	488	20406
宮崎県	2016		70521	14	<10			379	13785
宮崎県	2017		75321	12	<10			469	13829
宮崎県	2018		80299	20	<10			392	12441
宮崎県	2019		84797	29	<10			409	12467
宮崎県	2020	213	88761	27	<10	<10	<10	344	12204
宮崎県	2021	128	92451	18		<10	<10	368	12319
宮崎県	2022	296	97910	104		<10	15	436	14242
宮崎県	2023	453	107408	139	<10	26	28	683	15479
鹿児島県	2016		139764	185	13			1078	29867
鹿児島県	2017		147964	342	18			1150	31131
鹿児島県	2018		156520	234	13			1143	30213
鹿児島県	2019		163032	188	24			1408	30009
鹿児島県	2020	303	174394	226	15	64	<10	1113	29270
鹿児島県	2021	338	180954	269	12	55	14	1057	29813
鹿児島県	2022	386	183800	261	<10	57	11	1141	33758
鹿児島県	2023	463	190453	319	<10	64	18	1195	34833
沖縄県	2016		55738	31				294	9229
沖縄県	2017		58683	29	<10			386	10054
沖縄県	2018		60204	47	<10			438	9538
沖縄県	2019		62906	36	<10			589	9664
沖縄県	2020	354	65067	23		<10	35	468	10532
沖縄県	2021	697	71996	35	<10		52	570	12483
沖縄県	2022	931	80219	48	<10	10	57	700	15412
沖縄県	2023	1285	93843	102	14	10	73	984	18116